



一酸化炭素(CO)の

豆知識

一酸化炭素(CO)とは

モノが燃焼するためには酸素が必要であり、酸素が不足すると不完全燃焼を起こします。その際に発生するガスが一酸化炭素です。無色・無臭で、大変毒性の強いガスです。

無色・無臭

危険度は

一酸化炭素は、血液中のヘモグロビンと結びつきやすい性質があり、ごくわずかな量でも吸引し続けると一酸化炭素中毒を引き起こします。



発生したら

とにかく換気をすることと吸引をしないようにその場を離れることです。万が一、一酸化炭素中毒になっているなど感じたら、すぐに新鮮な空気をたくさん吸うことが重要です。



どんな時に発生するの

換気の行き届いていない屋内でモノが燃焼すると一酸化炭素が発生するので、調理や暖房器具を使用する際には注意が必要です。また、実は火災時にも多くの場合一酸化炭素が発生しており、一息吸い込むだけで致死量となる高濃度の一酸化炭素が発生するケースもあります。

一酸化炭素中毒(CO中毒)の危険性

一酸化炭素(CO)濃度	吸入時間による中毒症状
200ppm	2~3時間で前頭部に軽度の頭痛
400ppm	1~2時間で前頭痛・吐き気、2.5~3.5時間で後頭痛
800ppm	45分間で頭痛・めまい・吐き気・けいれん、2時間で失神
1600ppm	20分間で頭痛・めまい・吐き気、2時間で死亡



一酸化炭素中毒にならないためには、一酸化炭素の発生にできるだけ早く気付くことが大変重要です。

熱中症/乾燥おしらせ機能付き!



SC-745C



SC-345C

電池寿命
10年

音声
警報

故障
お知らせ

電池切れ
お知らせ

交換期限
お知らせ

検知対象 煙、一酸化炭素(CO)

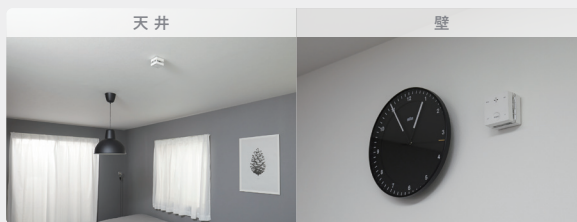
電源 専用リチウム電池

電池寿命 約10年

外部出力 無電圧 a 接点出力 (DC30V、0.1A 以下)

寸法 W75×H75×D52(mm)

天井にも壁にも設置が簡単!



お問い合わせ



プラスコのスゴイところを
ご紹介します!



早見 しお

新田 宇宙

もっと早く、火災を見つける。

PLUSCO
プラスコ

CO 反応式 一酸化炭素検知機能付き 火災警報器
SC-745C
SC-345C

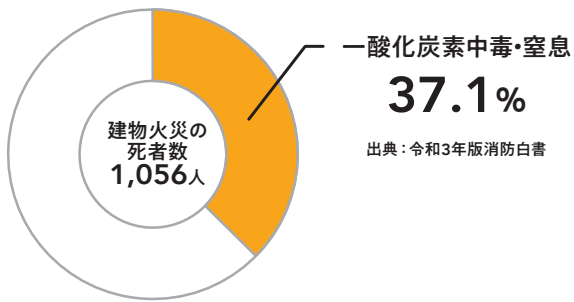


- 住宅用防災警報器(特例基準:CO反応式)検定合格品
- 一般財団法人日本ガス機器検査協会検査合格品 ●日本製

COSMOS



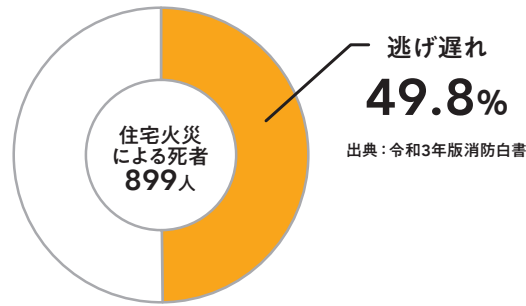
建物火災による死者の**約4割**が**一酸化炭素中毒・窒息**によるものです。



プラシオは、**一酸化炭素(CO)センサ**を搭載しており、一酸化炭素100ppmを検知すると、CO注意報を発報するので、安心です!



住宅火災による死者の**約半数**が**逃げ遅れ**によるものです。



少しでも早く火災に気付くことが、逃げ遅れ防止には非常に大切です。**プラシオは従来の火災警報器より早く火災をお知らせ**するので安心です!



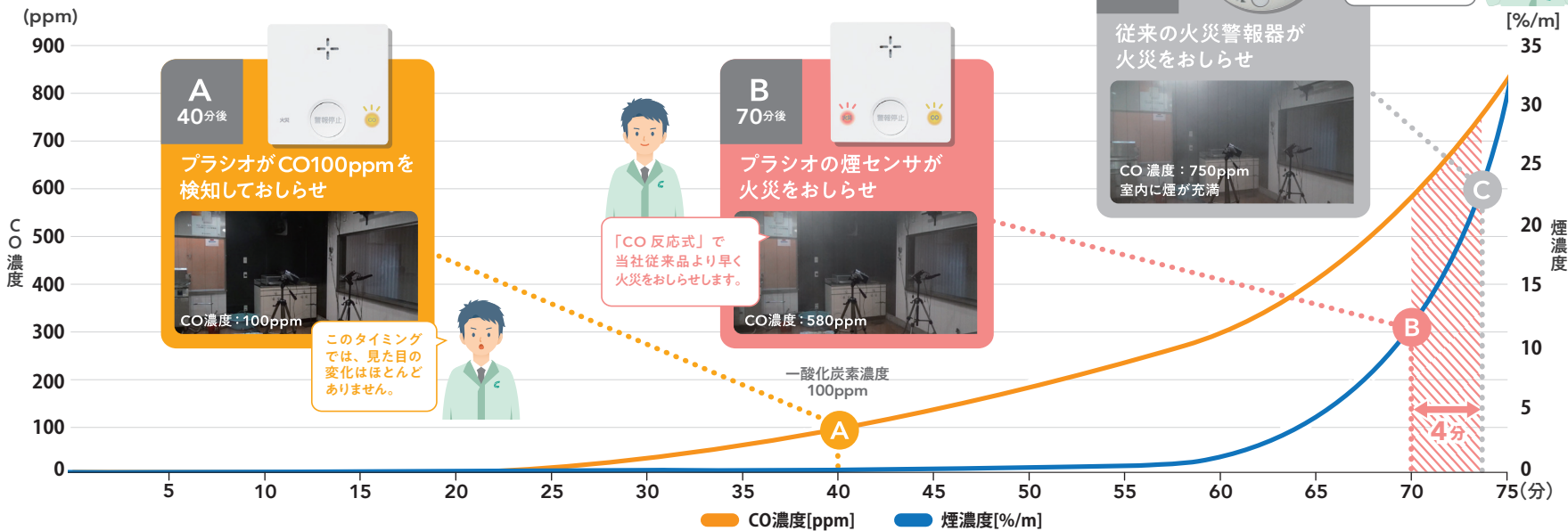
PLUSCO が早く火災をお知らせする **しくみ**



※住宅用防災警報器及び住宅用防災報知設備に係る技術上の規格を定める省令(平成17年総務省令第11号)第11条の規定に基づき、総務大臣に認証された基準

比較実験の結果

従来の火災警報器とプラシオの反応を布団くん焼火災実験で比較しました。



火災現場では、1分1秒が生死を分けると言われます。この実験では、プラシオが従来の火災警報器より4分早く火災をお知らせしました。この時間で、より安全に避難ができますね。

【実験概要】
当社火災実験室(8畳相当)にてたばこの火種が布団に落ちたケースを想定し、50cm角の綿布団2枚の間に電熱ヒーターを挟み、400℃で15分熱した後、火災警報器が作動するまで放置した。

